

基本課題Ⅲ 家庭・地域（男女の生活者としての自立をすすめる）

目標6 男女が共に参画する家庭・地域づくり

施策	具体的な施策	実施状況	ジェンダーの視点	達成度	担当課
(1) 家庭生活・地域活動への男女平等参画の推進	①地域活動への女性の参画推進 豊かな地域コミュニティを築くために、地域活動へ男女が積極的に参画していく必要があります。 これまで地域活動を支えてきた女性の方針決定・意思決定の場に参画する意識を高めるための啓発に努めます。 ・地域活動（町会・自治会・ボランティア活動等）の情報収集と提供 ・女性の参画意識を高める啓発	・地域活動（町会・自治会・ボランティア活動等）の情報収集と提供 町会・自治会の運営に関する「町会・自治会役員の手引き」を作成・配布し、男女を問わずより多くの方が地域活動に参加する機会を広げた。	5	b	市民活動推進課
		・女性の参画意識を高める啓発 「町会・自治会役員の手引き」に町会長への女性の登用を促す内容を掲載した。	3, 5	b	男女共同参画室
	②家庭生活・地域活動へ参画しやすい条件整備 家事・育児・介護などに男女がともにかかわりあい、また地域活動にも男女がともに参画できるように労働時間の短縮や子育て中の男女が参加しやすい環境づくりに努めます。 ・労働時間短縮に係る情報収集 ・保育サービスの整備と情報提供 ・介護サービスの整備と情報提供	・労働時間短縮に係る情報収集 厚生労働省、(財)21世紀職業財団及び松戸職業安定所等から、労働時間短縮や職業と家庭の両立支援事業等の情報を収集し、パンフレット配架などにより情報提供した。	7	b	商工課
	・保育サービスの整備と情報提供 全園（公立23園、私立5園）において、7時から19時までの延長保育を実施し、保育サービスの整備に努めている。また、一時保育の条件を緩和してリフレッシュ保育を実施し、私的理由での受入れも行うようにした。	8	c	保育課	

		<p>・介護サービスの整備と情報提供 「おとしよりのためのしおり」他各種パンフレットを作成し、高齢者支援課窓口・近隣センター・在宅介護支援センターや民生委員を通して配布し情報提供を行った。</p> <p>地区社会福祉協議会・地区民生委員協議会等に対して、平成18年度から改正される介護保険制度の説明会を実施した。(42団体 延べ人数1,398人)</p>	2, 6	b	高齢者支援課												
(2) 男性が家庭責任を担うための支援	<p>①講座の開催 男性の家事・育児・介護への積極的参画を促し、生活的自立を図るための講座を開催します。</p> <p>・家事に関する講座 ・育児に関する講座 ウエルカムベイビー (両親学級) ・介護に関する講座</p>	<p>・家事に関する講座 各近隣センターで次の講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名 (近隣センター名)</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男の料理教室[おと 松子] (田中)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>男の料理教室 (布施)</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>蕎麦道場 (光ヶ丘)</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>初心者男の料理教室 (新富)</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>市民講座(寒仕込み手造り味噌) (松葉)</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	講座名 (近隣センター名)	延べ参加者数	男の料理教室[おと 松子] (田中)	9	男の料理教室 (布施)	52	蕎麦道場 (光ヶ丘)	32	初心者男の料理教室 (新富)	44	市民講座(寒仕込み手造り味噌) (松葉)	40	3, 7	b	近隣センター
		講座名 (近隣センター名)	延べ参加者数														
男の料理教室[おと 松子] (田中)	9																
男の料理教室 (布施)	52																
蕎麦道場 (光ヶ丘)	32																
初心者男の料理教室 (新富)	44																
市民講座(寒仕込み手造り味噌) (松葉)	40																
	<p>・育児に関する講座 市内23園で育児講座を実施し、育児や遊び、保護者の心身のリフレッシュ等を行った。(49回 参加者数2,891人)</p>	3, 7	b	保育課													

		<p>出産前の夫婦を対象にウェルカムベイビー(両親学級)を開催した。(24回 参加者数998人)</p> <p>柏市医師会, 慈恵医大柏病院等との連携による子育て講演会を開催した。(5回 参加者総数約700人)</p> <p>NPO(自閉症サポートセンター)等との協働により発達障害を切り口とした子育て講演会を開催した。(2回 参加者総数約330人)</p> <p>父親が参加しやすいように, ウェルカムベイビーは土曜日, 子育て講演会は土・日曜日の開催とした。</p>	3, 6, 7, 8	b	健康推進課
		<p>・介護に関する講座</p> <p>介護予防センター「ほのぼのプラザますお」にて, 介護予防やボランティア育成に係る講座を実施した。(56回 延べ参加者数13,380人)</p>	2, 6, 7	b	高齢者支援課

目標7 男女が安心して子育てできる環境づくり

施 策	具 体 的 な 施 策	実 施 状 況	ジェンダーの視点	達成度	担 当 課
(1) 保育サービスの充実	<p>①保育サービスの充実</p> <p>女性の社会進出を積極的に受け入れ、また仕事を持つ男女が安心して子育てができるよう保育サービスの充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> 産休明け保育 延長保育 家庭保育福祉員 私立幼稚園での預かり保育 無認可保育園の支援 学童保育 ファミリーサポートセンター等 	<p>・保育サービスの充実</p> <p>延長保育を23園、産休明け保育（生後57日からの保育）を17園で実施し、柏市保育ルーム（市の認定を受けた無認可保育所12ヶ所）や家庭保育福祉員（3人）の制度を設け、保育サービスの充実に図っている。病後児保育の委託を行う私立園1園の新設に向けて、準備を行った。</p> <p>豊小へのこどもルーム新設及び柏五小、土南部小、西原小、松葉第二小への第二保育室の増築施設整備を行い、学童保育の施設の拡充を図った。</p> <p>（17年度末現在、公立のこどもルームは33ヶ所、自主運営によるものは2ヶ所）</p> <p>ファミリーサポートセンターは、育児の援助を行う協力会員と育児の援助を受ける利用会員で構成し、会員相互による育児の援助活動を行っている。17年度末時点の利用会員数は716人、利用者延べ人数は11,487人で、着実に増加している。</p>	8	b	保育課
	<p>②子育て支援事業の充実</p> <p>子育て中の保護者が子育てを楽しむことができ、いつでも相談できる場や仲間づくり、社会参加できるための地域ぐるみでの支援事業の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> 子育てサロン 子育てサークル 一時保育等 	<p>・子育て支援事業の充実</p> <p>地域子育て支援センター3ヶ所で、子育てサロン、子育てサークルの育成、子育てひろば等を実施した。また、各保育園にて育児相談、育児講座、園庭開放等を行った。</p> <p>一時保育の条件を緩和してリフレッシュ保育を実施し、私的理由での受入れも行うようにした。</p>	8	8	b
			6, 7, 8	b	保育課

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座 地域ぐるみ子育て支援（母と子のつどい） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座 母と子のつどいを実施し、育児に対する不安や悩みを解消して互いに支え合う仲間づくりと地域ぐるみで子育てを支援する地域づくりを進めた。 （延べ参加者数13, 122人） 柏市医師会、慈恵医大柏病院等との連携による子育て講演会を開催した。（5回 参加者総数約700人） NPO（自閉症サポートセンター）等との協働により発達障害を切り口とした子育て講演会を開催した。（2回 参加者総数約330人） 	3, 6~8	a	健康推進課
	<p>③相談体制の充実と情報提供 子育て中の保護者の悩みごと相談や子育て支援情報の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育相談、子育てにこにこ電話相談、育児相談の充実 ・ひとり親家庭の相談体制の充実 ・広報紙等による情報提供 ・健康づくり推進員による声かけ訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育相談、子育てにこにこ電話相談、育児相談の充実 平成17年度から不登校への対応も教育研究所の所掌となり、幼児教育相談・学校教育相談・就学相談を電話、面接により実施した。（相談総件数延べ5, 205件） 11月30日中央公民館にて、4人の保護者が各自の育児について発表する育児体験発表会を開催した。（参加者数119人） 子育てにこにこ電話相談では、相談専用ダイヤルにより専任の相談員が相談を受けている。（相談件数1, 460件）また、母と子のつどいや母子保健コーナー、電話での相談にも対応した。（相談件数23, 122件） 子育て支援センターにて育児相談、各園にて電話・来所相談を実施した。（相談件数559件） 	7, 8	b	教育研究所
			9	a	健康推進課
			2, 3, 7	b	保育課

		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の相談体制の充実 母子自立支援員が母子家庭・寡婦家庭の生活一般の相談に応じるとともに、自立に必要な指導にあたった。(母子相談件数2,593件 うち児童に関する相談619件) 	2, 6, 7	b	児童育成課
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙等による情報提供 広報紙やシティネットでの掲載及び公共施設でのチラシ配布等により、情報提供を行った。 	9	b	児童育成課・保育課・健康推進課
		<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員による声かけ訪問 柏市民健康づくり推進員により、妊産婦・乳児の家庭に声かけ訪問を実施した。(5,337件) 同じ地域に住む人生・子育ての先輩として見守り応援する存在であることを知らせるとともに、地域のさまざまな健康・子育て情報を市民の視点で知らせる活動を実施した。 	9	a	健康推進課
	<p>④子育てしやすいまちづくり 公共施設や民間施設などで子育てに配慮したまちづくりに努めます。 また、社会全体で子育てしていくよう意識づくりに努めます。 ・民間施設（デパート、スーパー、駅、レストランなど）への働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設への働きかけ 「柏市次世代育成支援行動計画」の進行管理のため、「かしわ子どもネットワーク会議」を設置し計画中に位置付けられた事業について協議を行った。また、中小企業を対象に、従業員が育児休業制度を活用した場合等に奨励金を支給する「子育て支援奨励金支給制度」の創設準備を進めた。(平成18年度より開始) 柏市健康文化都市プラン推進市民組織「3あいサポート柏」や「柏まちづくりサロン実行委員会」等との協働で、積極的な健康づくりと互いに支えあう地域づくりを目的とした各種事業を行った。 	1~4, 6, 8	b	児童育成課
			9	a	健康推進課

目標8 高齢社会に対応した高齢者・障害者への自立支援と介護への社会的支援

施策	具体的な施策	実施状況	ジェンダーの視点	達成度	担当課
<p>(1) 高齢者・障害者の自立への支援 (柏市高齢者いきいきプラン21で対応) (ノーマライゼーションかしわプランで対応)</p>	<p>①経済的自立支援 家事・育児や介護の多くを担ってきた女性の経済的自立支援のため、就業に関する情報提供や年金の受給権の確保等に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター充実への支援 ・年金等社会保障制度の見直しについて国への働きかけ 	<p>・シルバー人材センター充実への支援 シルバー人材センターの運営費補助金として、20,000,000円交付した。平成17年度末でのセンター会員数は1,585人である。 パートバンク、高齢者就業相談等を行う柏ワークプラザの運営を松戸公共職業安定所と連携して行い、就業に関する情報提供を行った。また、求人情報サイト「わくわくかしわ」を運営し、就業に関する情報提供を行った。</p>	1～3, 5, 6	a	商工課
		<p>・年金等社会保障制度の見直しについて国への働きかけ 年金制度の見直しについて、千葉県国民年金協議会・全国都市国民年金協議会を通し、厚生労働省・社会保険庁に対し、要望書を提出した。(平成17年度から3号被保険者の届出漏れに対する救済が開始された)</p>	6	b	保険年金課
	<p>②生活的自立の支援 仕事中心の生活を過ごしてきた男性が、家庭や地域で生きがいのある生活が過ごせるよう支援をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事や介護に関する講座の実施 食生活推進員活動による男の料理教室 ・地域活動(ボランティア活動等)の支援 	<p>・家事や介護に関する講座の実施 柏市民健康づくり推進員と地域ボランティア・地区社協等と合同で、男の料理教室を実施した。地域での男性同士のつながりやボランティアへの意識が生まれ、地域社会への男性参画につながっている。 介護予防センターほのぼのプラザますおにて、介護予防やボランティア育成に係る講座を実施した。(56回 延べ参加者数13,380人)</p>	2, 3, 6～8	b	健康推進課
			2, 6, 7	b	高齢者支援課

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動（ボランティア活動等）の支援 市民公益活動補助金として、12団体に計2,906,000円交付し、活力ある地域づくりの担い手となる自主的な市民公益活動を支援した。 	2, 5	b	市民活動推進課
	<p>③健康づくりへの支援 健康に関する普及・啓発を推進するとともに、各種講座の開催、健康診査、相談窓口の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育・健康診査・相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育・健康診査・相談体制の充実 健康づくりに関するイベント「手賀沼ふれあいウォーク」を開催し、生活習慣病予防の啓発を行った。（約5,000人参加）また、生活習慣病予防フォーラムを開催し、メタボリックシンドロームに関する講演会を開催した。（約430人参加） 乳がん検診への超音波検診導入、子宮がん検診の30歳から20歳への対象年齢引き下げ、女性の健康診査35の実施を行い、早期発見・早期治療につながるための健康診査の充実に努めた。 健康づくり相談、ふれあい健康相談の充実のための検討を行った。また、健康づくり相談の必要者に対し個別に相談を実施した。 	7	a	健康推進課
	<p>④バリアフリーのまちづくり 高齢者や障害者が快適な日常生活が送れるよう、公共施設や住環境の整備を働きかけていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修等の援助 ・公共施設等のバリアフリー化の推進 ・バリアフリーのまちづくりの啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修等の援助 65歳以上の高齢者のいる家庭を対象に、住宅改造費用の一部補助を実施した。要介護高齢者等住宅改造補助は47件、転倒予防補助は36件であった。 障害者が快適な日常生活が送れるよう、住環境の整備に対する助成を行った。（10件） 	2, 6 8	c b	高齢者支援課 障害福祉課

		<p>・公共施設等のバリアフリー化の推進 柏駅前サンサン通りからアミュゼ柏間において既設歩道の段差・傾斜・勾配の改善，視覚障害者用誘導標示の設置によりバリアフリー化を実施した。平成22年までに市内7駅周辺のバリアフリー化を目標としており，平成17年度までで4ヶ所実施。</p>	9	b	道路建設課
		<p>・バリアフリーのまちづくりの啓発 「千葉県福祉のまちづくり条例」「柏市福祉のまちづくりのための施設整備要綱」に沿って，新設・改修する建築物に対し，事業者の申請に基づき適合証を交付し，条例や要綱の遵守を指導した。</p>	8	b	障害福祉課
	<p>⑤生きがいづくりの推進 高齢者が主体的に活動し，自立した生活が送れるように生きがいづくりのための取組を進めます。 ・生きがいづくり事業 生きがい活動支援通所事業 老人福祉センター運営事業</p>	<p>・生きがいづくり事業 デイサービスセンター，老人いこいの家及び介護予防センターいきいきプラザにおいて，介護予防・仲間づくり事業を行った。(延べ利用者数2,446人) 市内4館の老人福祉センターにおいて，高齢者の仲間づくりやボランティア育成，介護予防を目的とした事業を実施した。(延べ利用者数177,880人)</p>	2, 6, 7	b	高齢者支援課

<p>(2) 高齢者・障害者介護の社会的支援 (柏市高齢者いきいきプラン21で対応) (ノーマライゼーションかしわプランで対応)</p>	<p>①介護サービスの充実 高齢者や障害者が住み慣れた地域で生活できるよう、在宅サービスや施設サービスの整備を図るとともに、関係機関との連携を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅保健福祉サービス・保健福祉施設の整備 介護保険・在宅支援 訪問介護 訪問入浴介護 通所介護 短期入所 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 配食サービス 送迎サービス ・相談体制の整備 ・介護予防センターの整備 	<p>・在宅保健福祉サービス・保健福祉施設の整備 施設整備として、特別養護老人ホーム1施設(50床)の整備に着手した。 高齢者が住み慣れた地域での生活継続に資する地域密着型サービスの整備計画を策定した。 調理の困難なひとり暮らし高齢者等に配食サービスを実施し、食生活の安定を図るとともに、利用者の安否確認も行った。(配食数99,411食) 寝たきりの高齢者の移動手段として、ストレッチャー付きワゴン車による送迎サービスを実施した。(延べ利用件数70件)</p>	2, 6,	b	高齢者支援課
		<p>・相談体制の整備 市内13ヶ所の在宅介護支援センターで、在宅介護や介護予防に関する相談に対応した。</p>	2, 6	b	高齢者支援課
		<p>・介護予防センターの整備 介護予防センターほのぼのプラザますおにおいて、市民協働で介護予防や心身の健康づくり等の事業を実施した。 また、3ヶ所の在宅介護支援センターで運動器の機能向上や閉じこもり予防等、介護状態になることを予防する科学的根拠に基づく事業を実施した。</p>	2, 6	b	高齢者支援課

	<p>②介護の社会的資源の育成と活用 介護を社会全体で支えるものとして、男女が介護に取り組めるよう各種講座の開催に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝たきり予防と地域での支えあい活動への啓発と支援 ・ボランティア、NPO活動に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきり予防と地域での支えあい活動への啓発と支援 町会・自治会が主体となって地域ぐるみで支えあう「おせっ会」事業を、地域で取り組む介護予防の場として位置付け、支援を行った。おせっ会等支えあい活動を実施している町会は約100町会である。 	2, 3, 5	a	健康推進課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、NPO活動に関する情報提供 市民活動情報をデータベース化し、約500団体の団体情報をインターネットを通じ提供した。また、柏市民公益活動ガイドブックを作成し、市民公益活動に対する市民の理解と関心を高め、参加や利用へのきっかけとした。 	2, 5	b	市民活動推進課
	<p>③介護保険制度を活用した介護の社会化 介護を社会全体で支えるために、介護保険制度の普及啓発に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の周知 地区社会福祉協議会・地区民生委員協議会等に対して、平成18年度から改正される介護保険制度の説明会を実施した。(42団体 延べ人数1,398人) 	2, 6	b	高齢者支援課